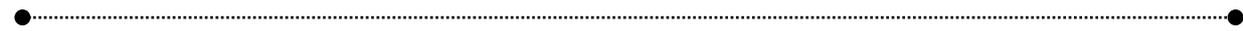


平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	神宮寺片山下斜面等周辺整備及びやまぶきの植樹事業
事業主体 (連絡先)	やまぶき街道の会 会長 小林 佐敏 0266-58-6521
事業区分	環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	950,000円 (うち支援金: 712,000円)



事業内容

諏訪大社上社本宮と前宮を繋ぐ街道には、北斗神社や様々な史跡、地元では片山と呼ばれている諏訪を一望できる高台があります。この片山下の斜面は巨木となった樹木も多く危険な場所となっています。また、諏訪大社への参拝客は多いものの、この街道沿いを歩いて散策する観光客の姿が少ないのが現状で、この変化に富んだ一帯を活かし環境整備を行うことにより、観光客の視線を少しでもこの街道へ向けていただき、より活気ある街として発展するきっかけとなればと考えています。その一環として昨年に引き続き、神宮寺片山下斜面の整備と「やまぶき」の植樹により多くの観光客を迎え楽しめる場所として整備していく。

《事業参加者》

整備 約500㎡ 植栽 1500本
11/29 130人参加



【植栽風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

片山周辺の街道沿いは、25年度からの整備事業は始める前に比べて、街道を歩いて周辺の景観を楽しむ観光客や地元住民の姿を多く見かけるようになってきた。3ヶ年計画による、傾斜地の整備、やまぶきの植栽も周知されてきており、少しずつではあるが、環境整備による効果が表れてきている。

また、本事業への地元関心度も高く、整備、植栽参加者も当初の80人に比べ、約1.6倍の130人の参加により実施できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

植栽箇所の整備、やまぶきの植栽は3ヶ年計画で本年度をもって終了となる。今後は、植栽したやまぶきの手入れや、草刈等行い、さらに活気のある街道づくりを進めていく。

【目標・ねらい】

- ①活気あるまちづくり
- ②地域特色の再発見
- ③観光客などの増加
- ④後継者への継承

※自己評価【B】

【理由】
少しずつではあるが、地域住民や観光客などの街道利用者の増加してきている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある